



平成26年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 松屋

コード番号 8237 URL <http://www.matsuya.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 秋田 正紀

問合せ先責任者 (役職名) 総務部IR室担当課長 (氏名) 白石 晴久

TEL 03-3567-1211

四半期報告書提出予定日 平成25年10月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年2月期第2四半期の連結業績(平成25年3月1日～平成25年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第2四半期	35,004	1.5	554	34.6	630	35.4	368	208.6
25年2月期第2四半期	34,476	3.8	412	—	465	882.4	119	△96.6

(注) 包括利益 26年2月期第2四半期 893百万円 (516.9%) 25年2月期第2四半期 144百万円 (△95.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年2月期第2四半期	6.95	—
25年2月期第2四半期	2.25	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年2月期第2四半期	44,407	15,108	33.6	281.47
25年2月期	43,334	14,216	32.4	265.12

(参考) 自己資本 26年2月期第2四半期 14,911百万円 25年2月期 14,045百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年2月期	—	0.00	—	—	—
26年2月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成26年2月期の期末及び合計の配当金額は未定であります。

3. 平成26年2月期の連結業績予想(平成25年3月1日～平成26年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	74,500	4.1	1,400	33.6	1,300	19.8	1,000	66.7	18.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年2月期2Q	53,289,640 株	25年2月期	53,289,640 株
26年2月期2Q	311,584 株	25年2月期	311,537 株
26年2月期2Q	52,978,065 株	25年2月期2Q	52,981,447 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1.	当四半期決算に関する定性的情報	2
(1)	連結経営成績に関する定性的情報	2
(2)	連結財政状態に関する定性的情報	3
(3)	連結業績予想に関する定性的情報	3
2.	サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1)	当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2)	四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3)	会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3.	四半期連結財務諸表	5
(1)	四半期連結貸借対照表	5
(2)	四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3)	四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4)	継続企業の前提に関する注記	10
(5)	セグメント情報等	10
(6)	株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期(平成25年3月1日～平成25年8月31日)におけるわが国経済は、輸出環境の改善や政府による各種景気対策の効果により、企業業績や個人消費にも持ち直しの動きがみられました。しかしながら、海外景気の下振れ懸念等もあり、先行きについては予断を許さない状況が続くものと思われまます。

百貨店業界におきましては、高額品を中心に堅調な動きが見られ、東京地区百貨店売上高はこの間、概ね前年実績を上回って推移しております。

こうした状況の中、当社グループでは当期を初年度とする新たな「中期経営計画」(2013～2015年度)を策定し、その基本方針に沿った諸施策を着実に実行することにより、業績の向上に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は35,004百万円と前年同四半期に比べ527百万円(+1.5%)の増収となり、営業利益は554百万円と前年同四半期に比べ142百万円(+34.6%)の増益、経常利益は630百万円と前年同四半期に比べ164百万円(+35.4%)の増益、四半期純利益は368百万円と前年同四半期に比べ248百万円(+208.6%)の増益となりました。

<百貨店業>

百貨店業の銀座店では、新たな中期経営計画の基本方針の下、「GINZA スペシャルティストア」のさらなる進化を実現すべく、9月14日のグランドリニューアルに向け、大規模な改装を行ってまいりました。この度の改装は、2009年度より計画的に行ってまいりました改装の総仕上げという位置づけにあり、当期におきましては、主に婦人フロアの再編・改装を進めてまいりました。また、春に食品売場にコンサルティング販売を強化したワイン売場「グルマルシェ ヴァン」を新設したほか、6月には屋上に、主に女性をターゲットとした「美しくなるピアガーデン」を開設するなど、売場の活性化と新たな収益の獲得にも努めてまいりました。

一方、催事につきましては、ゴールデンウィーク催事として「スノーピー×日本の匠展」を行ったほか、夏の大型催事として「エヴァンゲリオン展」を開催するなど、独自性と話題性のある企画とプロモーションによって集客力を高め、売上の向上に努めてまいりました。

浅草店では、昨年11月の「EKIMISE」の開業によって変化したお客様とその需要を取り込むため、春に1階と洋菓子売場の改編・拡大を行い「浅草すい一つ小町」を開設するなど、業績の向上に尽力してまいりました。

以上の結果、百貨店業の売上高は29,994百万円と前年同四半期に比べ710百万円(+2.4%)の増収となり、営業利益は413百万円と前年同四半期に比べ166百万円(+67.4%)の増益となりました。

<飲食業>

飲食業の主力となる婚礼宴会事業では、婚礼組数の獲得数向上に取り組んでまいりましたが、前年実績を上回ることはできませんでした。また、イタリアンレストラン事業では法人需要の回復等による増収があったものの、昨年8月末に(株)アターブルグリーンレストランが連結対象から除外されたことによる減収等もあり、飲食業全体の売上高は前年実績を下回りました。一方で、原価の低減や人件費等販売管理費の圧縮を推進した結果、営業利益は前年実績を上回りました。

以上の結果、飲食業の売上高は2,797百万円と前年同四半期に比べ338百万円(△10.8%)の減収となり、営業利益は60百万円と前年同四半期に比べ5百万円(+10.5%)の増益となりました。

<ビル総合サービス及び広告業>

ビル総合サービス及び広告業におきましては、内装工事、宣伝広告部門が好調に推移したことから売上高は前年実績を上回りましたが、受注工事に伴う原価の増加等により営業利益は減少いたしました。

以上の結果、ビル総合サービス及び広告業の売上高は 2,683 百万円と前年同四半期に比べ 88 百万円(+3.4%)の増収となり、営業利益は 1 百万円と前年同四半期に比べ 31 百万円(△95.6%)の減益となりました。

<輸入商品販売業>

輸入商品販売業の(株)スキャンデックスでは、主力となるブランド「イッタラ」(フィンランドの食器)の直営店を本年4月に「酒々井プレミアム・アウトレット」と「グランフロント大阪」に相次いで出店するなど、積極的な店舗展開に取り組みました。また、新規ブランドである「ロールストランド」(スウェーデンの陶器)や「レ・クリント」(デンマークの照明器具)も順調に売上を伸ばし、売上高、営業利益ともに前年実績を上回りました。

以上の結果、輸入商品販売業の売上高は 822 百万円と前年同四半期に比べ 152 百万円(+22.8%)の増収となり、営業利益は 63 百万円と前年同四半期に比べ 18 百万円(+39.4%)の増益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は前連結会計年度末に比べ、1,072 百万円増加し 44,407 百万円となりました。これは主に建物及び構築物 873 百万円の増加等によるものであります。負債合計は前連結会計年度末に比べ、181 百万円増加し 29,299 百万円となりました。これは主に未払金 760 百万円の増加や借入金 422 百万円の減少等によるものであります。純資産合計は利益剰余金 368 百万円の増加、その他有価証券評価差額金 482 百万円の増加等により 891 百万円増加し 15,108 百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、当第2四半期の実績および足元の業績動向を踏まえ、これを見直した結果、連結の売上高、営業利益、経常利益、当期純利益及び個別の売上高、経常利益、当期純利益がそれぞれ前回予想を上回る見通しとなりましたので、平成25年4月11日に公表いたしました業績予想を修正しております。

つきましては、本日別途公表いたしました「平成26年2月期第2四半期(累計)業績予想との差異および平成26年2月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社の連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年3月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,348	2,428
受取手形及び売掛金	4,465	3,744
たな卸資産	2,361	2,461
その他	1,097	1,079
貸倒引当金	△19	△21
流動資産合計	10,253	9,691
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	10,416	11,290
土地	14,093	14,093
その他(純額)	398	368
有形固定資産合計	24,909	25,752
無形固定資産		
	484	446
投資その他の資産		
投資有価証券	5,560	6,221
その他	2,163	2,329
貸倒引当金	△37	△33
投資その他の資産合計	7,686	8,517
固定資産合計	33,080	34,715
資産合計	43,334	44,407
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,534	5,671
短期借入金	9,178	9,807
未払法人税等	69	69
賞与引当金	117	208
商品券等回収損失引当金	384	379
ポイント引当金	77	78
その他	4,438	5,397
流動負債合計	20,799	21,612
固定負債		
長期借入金	5,855	4,803
退職給付引当金	318	358
環境対策引当金	29	29
その他	2,115	2,495
固定負債合計	8,319	7,686
負債合計	29,118	29,299

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,132	7,132
資本剰余金	5,639	5,639
利益剰余金	846	1,214
自己株式	△427	△427
株主資本合計	13,191	13,559
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	886	1,369
繰延ヘッジ損益	△31	△16
その他の包括利益累計額合計	854	1,352
少数株主持分	170	196
純資産合計	14,216	15,108
負債純資産合計	43,334	44,407

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
売上高	34,476	35,004
売上原価	25,349	25,787
売上総利益	9,127	9,216
販売費及び一般管理費	8,715	8,662
営業利益	412	554
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	76	83
債務勘定整理益	111	101
受取協賛金	32	10
その他	55	67
営業外収益合計	278	264
営業外費用		
支払利息	122	107
商品券等回収損失引当金繰入額	77	68
その他	24	12
営業外費用合計	224	188
経常利益	465	630
特別利益		
改装協力金	—	374
特別利益合計	—	374
特別損失		
固定資産除却損	199	543
投資有価証券評価損	6	—
その他	—	9
特別損失合計	205	552
税金等調整前四半期純利益	259	452
法人税、住民税及び事業税	38	47
法人税等調整額	19	10
法人税等合計	57	57
少数株主損益調整前四半期純利益	202	395
少数株主利益	82	26
四半期純利益	119	368

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	202	395
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△72	467
繰延ヘッジ損益	9	15
持分法適用会社に対する持分相当額	5	14
その他の包括利益合計	△57	498
四半期包括利益	144	893
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	61	866
少数株主に係る四半期包括利益	83	26

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	259	452
減価償却費	638	571
賞与引当金の増減額(△は減少)	2	91
受取利息及び受取配当金	△78	△86
支払利息	122	107
固定資産除却損	199	543
投資有価証券評価損益(△は益)	6	—
改装協力金	—	△374
売上債権の増減額(△は増加)	514	721
たな卸資産の増減額(△は増加)	△45	△99
仕入債務の増減額(△は減少)	△470	△862
その他	△130	108
小計	1,018	1,175
利息及び配当金の受取額	80	88
利息の支払額	△119	△105
改装協力金による収入	—	208
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△146	4
営業活動によるキャッシュ・フロー	833	1,371
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△252	△1,184
無形固定資産の取得による支出	△11	△2
投資有価証券の取得による支出	△4	△4
投資有価証券の売却による収入	9	0
その他	△32	△67
投資活動によるキャッシュ・フロー	△291	△1,258
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,143	△420
長期借入れによる収入	800	500
長期借入金の返済による支出	△606	△502
長期未払金の増減額(△は減少)	—	404
少数株主への清算配当の支払額	△60	—
その他	△13	△14
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,023	△33
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△481	79
現金及び現金同等物の期首残高	2,771	2,348
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,289	2,428

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	百貨店業	飲食業	ビル総合 サービス及び 広告業	輸入商品 販売業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	29,264	3,077	1,314	646	34,302	174	34,476	—	34,476
セグメント間の内部売上高 又は振替高	20	58	1,280	23	1,383	451	1,834	△1,834	—
計	29,284	3,136	2,594	669	35,685	626	36,311	△1,834	34,476
セグメント利益	247	54	33	45	380	27	408	3	412

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、マーケティング情報提供、用度品・事務用品の納入、OA機器類のリース、保険代理業、商品販売の取次ぎ、商品検査業務等が含まれております。

2 セグメント利益の調整額3百万円は、セグメント間取引消去等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	百貨店業	飲食業	ビル総合 サービス及び 広告業	輸入商品 販売業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	29,975	2,745	1,300	792	34,812	191	35,004	—	35,004
セグメント間の内部売上高 又は振替高	19	52	1,382	30	1,485	380	1,865	△1,865	—
計	29,994	2,797	2,683	822	36,298	571	36,870	△1,865	35,004
セグメント利益	413	60	1	63	538	31	570	△15	554

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、用度品・事務用品の納入、OA機器類のリース、保険代理業、商品販売の取次ぎ、商品検査業務等が含まれております。

2 セグメント利益の調整額△15百万円は、セグメント間取引消去等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの名称変更)

第1四半期連結会計期間より、報告セグメントのうち「輸入商品卸売業」を「輸入商品販売業」に名称変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの名称で記載しております。

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」に記載のとおり、当社の連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より平成25年3月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、百貨店業以外の事業において減価償却の方法を変更しておりますが、当第2四半期連結累計期間のセグメント利益への影響は軽微であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。